

第2世代抗ヒスタミン剤 Ver1

2024年6月1日作成

推奨 一般名	第1推奨		第2推奨				オプション					
	フェキソフェナジン塩酸塩		ロラタジン		レボセチリジン塩酸塩		オオパタジン塩酸塩		ピラスチン		ルパタジンフマル酸塩	
代表的な商品名	GE:フェキソフェナジン塩酸塩錠	先発:アレグラ錠	GE:ロラタジン錠	先発:クラリチン錠	GE:レボセチリジン錠	先発:ザイザル錠	GE:オロパタジン錠	先発:アレロック錠	GE:なし	先発:ピラノア錠	GE:なし	先発:ルパフィン錠
標準的1日薬価	20 ² ~57 ⁴ 円 (120mg/日)	62 ⁰ 円 (120mg/日)	16 ³ 円 (10mg/日)	37 ⁵ 円 (10mg/日)	13 ⁵ ~17 ² 円 (5mg/日)	48 ⁹ 円 (5mg/日)	20 ² ~25 ⁶ 円 (10mg/日)	48 ⁶ 円 (10mg/日)	-	53 ² 円 (20mg/日)	-	46 ⁴ 円 (10mg/日)
効能・効果	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹、皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒		アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹、皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒		アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、湿疹、皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症		アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹、皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑)に伴うそう痒		アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹、皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒		アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹、皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	
用法	1日2回経口投与		1日1回経口投与(食後)		1日1回経口投与(就寝前)		1日2回経口投与(朝、就寝前)		1日1回経口投与(空腹時)		1日1回経口投与	
用量	1回60mg		1回10mg		1回5mg(最大10mg)		1回5mg		1回20mg		1回10mg(最大20mg)	
半減期(hr)	9.6±5.7(60mg、成人)		14.3±7.8(10mg、成人、食後)		7.33±0.98(5mg、成人)		8.75±4.63(5mg、成人)		10.54(SD5.50)		6.56±2.35(10mg5日後)	
自動車運転などの注意	記載なし		記載なし		従事させないよう十分注意すること		従事させないよう十分注意すること		記載なし		従事させないよう十分注意すること	
特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦、授乳婦での有効性・安全性が高い ・自動車運転等注意の記載がない ・錠剤のほかに、OD錠、ドライシロップの発売あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転等注意の記載がない ・OD錠、ドライシロップ、レディタブの発売あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の腎障害(CCr<10)は禁忌である ・OD錠、ドライシロップ、シロップ発売あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・尋常性乾癬、多形滲出性紅斑の適応あり ・OD錠、顆粒、ドライシロップ、フィルム剤の発売あり 		<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時投与が必要である ・GEの発売なし 		<ul style="list-style-type: none"> ・CYP3A4阻害薬、グレープフルーツと併用注意あり ・GEの発売なし 	

<解説>

有効性・安全性

日本では2024年2月時点で、15種類の第2世代抗ヒスタミン薬が発売されている。

アレルギー総合ガイドライン2022¹⁾においては、中枢への影響を考慮し第2世代の使用が推奨されているが、第2世代間での使い分けについては明記されていない。

海外の第2世代抗ヒスタミン薬のアルゴリズムにおいて、アレルギー性鼻炎および蕁麻疹において、ピラスチン、フェキソフェナジンは有効性、安全性で優れていると記載されている²⁾。

推奨の理由

有効性・安全性、各薬剤の特徴、経済性、処方実績を考慮し、推奨薬をフェキソフェナジン、ロラタジン、オロパタジンおよびレボセチリジンとし、オプションをピラスチン、ルパタジンとした。

フェキソフェナジンは添付文書上には自動車運転などの注意喚起の記載がないため、利便性が高く、第1推奨とした。(第2推奨ではロラタジンに記載無し)

なお、成人の抗アレルギー剤に対するフォーミュラーであることに留意して欲しい。また抗ヒスタミン剤の有用性には個人差があるため、既存薬で効果が得られている場合にはこの限りではない。

<参考文献>

1:一般社団法人日本アレルギー学会:アレルギー総合ガイドライン2022

2:Marsia Tingco Recto, et al. Selecting optimal second-generation antihistamines for allergic rhinitis and urticaria in Asia. Clin Mol Allergy. 2017;15:19

本フォーミュラーは2024年4月1日時点の添付文書・インタビューフォーム・薬価ならびに各種ガイドラインを参考に作成していることに留意されたい。